

教 科	国語	単位数	3	学 科	健康スポーツ科	学 年	3	全 / 選	全
科 目	現代文								
使用教科書	現代文（第一学習社）								
副 教 材 等	常用国語便覧（浜島書店） 確かめやすい漢字の総仕上げ（浜島書店）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 近代以降の様々な文章を読む能力を高めます。 2 ものの見方、感じ方、考え方を深めます。 3 進んで発表し読書することによって人生を豊かにする態度を育てます。
評 価 方 法	1 中間考査と期末考査の成績、常用漢字テストの成績、プリント・提出物・ノートなどの内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。 2 評価の内訳は、中間考査と期末考査の成績が70%、漢字テストの成績が10%、プリント・ノートなどの提出物の内容と発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度が20%です。
生徒へのアドバイス	「現代文」は、近代以降の様々な種類の文章を読みながら、1年間の学習をとおして学習到達目標を達成します。担当者からの指示や説明などを良く聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加してください。評価については、上で説明したように様々な観点から行います。普段の授業の1時間1時間を大切にしてください

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 進んで自分の意見や考えが表現できているか。 2 言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書しようとしていたりしているか。 3 読書に対する意欲を自ら喚起し、読書力を高めようとしているか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 プリント 3 ノート
話す・聞く能力	1 日常的な課題に応じて様々な情報を収集し活用してすすんで表現しようとしているか。 2 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合おうとしているか。 3 文章の理解を深め、興味・関心を広げるために創作的な活動を行おうとしているか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 プリント 3 ノート
書く能力	1 論理的な文章を読んで、書き手の考え方やその展開の仕方などについて意見を書こうとしているか。 2 目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、すすんで表現しようとしているか。	1 プリント 2 作文 3 定期考査 4 ノート
読む能力	1 論理的な文章を読んで書き手の考えや要旨を的確に捉えることができていないか。 2 文学的な文章について、人物・情景・心情などを的確に捉え、表現を味わおうとしているか。 3 様々な文章を読むことを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり、発表しようとする姿勢があるか。	1 プリント 2 定期考査 3 ノート
言語事項	語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえているか。	1 プリント 2 定期考査 3 漢字テスト

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	評論（一） 1「ホンモノのおカネの作り方」	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語、接続詞など基本的な文章を理解する。 ・筆者のものの見方・考え方を読み取る。 ・文章構成について理解し、論理の展開をとらえる。 「理解」のパターンをとらえ、自分で考えることの意義について思索を深める。
		5		
	期 末	5	小説（一） 「ウサギ」 探求と表現 「意見文の書き方」	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味を正確に理解する。 ・情景描写、心理描写を区別する。 ・登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する ・情景描写に込められた意味を読み取る。 ・作中に表現された心情を読み味わう。 ・作品のテーマを考える。 ・作文の基礎を復習し、実用的な文章の練習をする。
		6		
		7		
2 学期	中 間	9	評論（二） 「この村が日本で一番」 「身体の個別性」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成を的確にとらえ、要旨をまとめることを通して、筆者の考え方を理解する。 ・科学的な要素と他の要素との絡み合いについて、さまざまな例を思いおこし、自分の考えをまとめる ・文章構成に即して要旨をまとめ、筆者のものの見方、考え方を的確にとらえる。 ・二十一世紀の日本のありかたに関する筆者の考え方に対して、自分の考えをまとめる。
		10		
	期 末	10	小説（三） 「舞姫」	<ul style="list-style-type: none"> ・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、日本の近代と個人の生き方との関係について考える。
		11		
		12		
3 学 年 末	学 年 末	1	詩 「足と心」「冬の日」「自然の背後に隠れている」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の特徴を理解し、深く親しむ。鑑賞の基本的な態度、方法を身につけ、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
		2		
		3		
課題提出物等	1	授業の中で使用するプリントや作文など		
	2	ノート		
	3	夏休みの読書感想文		

教 科	地理歴史	単 位 数	3	学 科	健康スポー ツ科	学 年	3	全 ／ 選	全
科 目	世界史 A								
使用教科書		世界史 A 新訂版（実教出版）							
副 教 材 等		ダイアログ世界史図表（第一学習社）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。 2 人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考を培う。 3 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
評 価 方 法	1 定期試験では、おもに知識・理解の評価をはかり、授業における活動や例示した課題などで、関心・意欲、思考・判断、資料活用の技術の評価を行う。 （定期テスト 70％・授業時の提出課題 30％） 2 このシラバスは、あくまで予定を示したもので、状況により時間配分や課題・発表などを変更することがある。
生徒へのアドバイス	1 平常の授業を最も大切にしてください。教師や生徒の説明・意見などをしっかり聞き、教科書・資料集などを丁寧に調べて、重要な内容や、事柄の基本的な問題を理解してください。 2 普段の新聞やテレビなどで報道される事柄にも、強い関心をもって接し、学習内容と関連づけ、より理解を深めてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究している。	教科書・提出物・ノート・授業への姿勢
資料活用・表現	近現代史を中心とする世界の歴史に関する文献、絵画、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的現象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	資料の収集・資料の解釈・発表
思考・判断	近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けて、多面的多角的に考察している。	発言・発表・提出物・定期考査
知識・理解	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査・提出物

3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	第1章 諸地域世界と文明 東アジア世界と中国文明 南アジア世界とインド文化 乾燥世界とイスラーム ヨーロッパ世界とキリスト教	・風土、民族、宗教などに着目させながら、ユーラシアを中心に形成された諸地域世界の特徴を把握させる。
		5	第2章 諸地域世界の交流 海域世界の成長 遊牧社会の膨張 地中海域 東アジア海域	・諸地域相互の交流に触れ、世界の一体化につながる交流圏の成立に気付かせる。
	期 末	5	第3章 アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制 一体化に向かう世界 イスラム諸帝国の成熟 清帝国と東アジア ヨーロッパの主権国家体制 大西洋交易圏の成立	・大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流を扱い、16世紀の世界の一体化への動きを理解させる。 ・アジアの諸帝国の政治と社会、ヨーロッパの主権国家体制の成立、大西洋貿易の展開を扱う。
		6	第4章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変貌 工業化社会への転換 アメリカの独立とヨーロッパの革命 近代国民国家の形成と展開 アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌	・産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展、拡大する貿易活動を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成を理解させる。 ・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中で日本の対応を扱い、19世紀の世界の一体化とその特徴を理解させる。
		7	東アジアと日本の動向	
2 学 期	中 間	9	第5章 現代世界のあゆみ 急変する世界 第一次世界大戦とロシア革命 戦間期のヨーロッパとアメリカ	・輸送革命、マスメディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などを扱い、20世紀という時代の特徴を人類的視野から把握させる。 ・第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解させ、平和の意義などについて考察させる。
		10	民族運動の高揚 第二次世界大戦	
	期 末	10	第6章 第二次世界大戦後の世界 冷戦と第三世界	・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。
		11	多極化と冷戦の終結 現代の世界	・1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現を理解させ、日本が世界の諸国、諸地域と多様性を認めあいながら共存する方向などについて考察させる。
		12	第7章 地球社会へ向かって 頻発する戦争・紛争と平和への努力	・冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因や歴史的背景を追究させ、国際社会の変化や国民国家の課題などについて考察させる。
3 学 期	学 年 末	1	巨大技術と情報化 地球環境の危機回避に向けて	・原子力の利用、情報科学など現代の科学技術の人類への寄与と課題を追究させ、人類の生存と環境、世界の平和と安全などについて考察させるとともに、国際的な交流と協調の必要性に気付かせる。
		2 3		
課題提出物等	ノート 課題プリント ビデオ視聴後のレポートなど			

教 科	公民	単 位 数	3	学 科	健康 スポーツ科	学 年	3	全 / 選	全
科 目	現代社会								
使用教科書	高等学校 改訂版 新現代社会（第一学習社）								
副 教 材 等	ワイド 現社（第一学習社）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 現代社会と人間について、広い視野に立った理解を深めます。 2 基本的な問題についての、主体的な思考・公正な判断力、生き方の基礎を養います。 3 文化・福祉の向上・発展に寄与・貢献する力と、平和で民主的な社会生活の実現・推進に主体的に参加・協力する態度を養います。
評 価 方 法	定期考査（7割）と平常点（レポート・ノートなど）（3割）です。
生徒へのアドバイス	1 平常の授業を最も大切にしてください。教師や生徒の説明・意見などをしっかり聞き、教科書・資料集などを丁寧に調べて、重要な内容や、事柄の基本的な問題を理解してください。 2 普段の新聞やテレビなどで報道される事柄にも、強い関心をもって接し、学習内容と関連づけ、より理解を深めてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	現代社会の基本問題と人間にかかわる事柄に関心を高め、総合的にとらえ、より良い社会の実現に向けて、参加・協力する態度を身につけ、生き方の自覚を深める。	・教科書・ノート・「資料集」の準備 ・課題への取り組み
思考・判断	現代社会の基本問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、事象の本質や人間としての在り方・生き方を多面的に、公正に判断する。	・発表・発言 ・定期考査 ・課題の内容
資料活用・表現	諸資料をさまざまなメディアを通して収集し活用し、その課程や結果をさまざまな方法で表現する。	・課題（プリントなど） ・「資料集」の内容の理解 ・資料の収集
知識・理解	現代社会の基本的問題と人間としてのあり方、行き方に関わる事柄や学び方を理解しその知識を身につけている。	・「定期考査」 ・課題の内容

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	第 編 現代に生きる私たちの課題 第 1 章 地球温暖化と公害～第 5 章 豊かな生活と福祉社会	・現代社会に関する課題を様々な観点から追求し、 現代社会への関心を高め、いかに生きるかを考え ます。
		5	第 編 現代の社会生活と青年 第 1 章私たちの生きる現代社会(大衆 社会 少子高齢化	・資料の収集・活用法、学び方や調べ方を身に付け ます。 ・現代社会の特質と社会生活の変化を理解します。
	期 末	5	情報化 国際化) 第 2 章 自分らしい生き方をめざし て(青年期 自立)	・青年期の意義と自己形成の課題について考察し、 青年としての生き方を自覚するようにします。
		6	(社会へ 社会参加) 第 編 現代の経済社会と国民生活 第 1 章 現代の経済社会	・激動する経済社会について、様々な角度から理解 を深め、個人や企業の経済活動における社会的責 任について考察します。
		7	(企業 市場 景気変動と 政府 記入機関 財政 と税 金融と財政問題)	・新聞記事などを題材にして、現実の動きと関連さ せて学習します。
2 学期	中 間	9	第 2 章 日本経済の特質と国民生活 (産業構造 中小企業 農業 労働問題 社会保障 公害)	・政治・経済の学習と関連させて学びます。
		10	第 編 現代の民主政治と民主社会の 倫理	・日本国憲法の基本原理と政治機構、民主政治にお ける世論形成と政治参加の意義などを理解し、民 主政
	期 末	10	第 1 章 日本国憲法 (基本原理 制定 自由権 平等権 社会権)	治において主体的に生きる人間としての、在り 方・生き方を考えます。
		11	(今日の人権 公共の福祉) (平和主義と防衛問題) 第 2 章 憲法と政治のしくみ	・新聞・資料集などを利用し、具体的で身近な事例 を通して、理解するようにします。
		12	(国会)	・政治・経済、日本史や世界史の学習内容と関連さ せるようにします。
3 学期	学 年 末	1	(行政 裁判 地方自治と福 祉 政治参加と選挙 政党 と世論)	・世界の主な国の政治体制を比較しながら理解させ るとともに、望ましい政治や主権者としての賛成 の在り方について考えます。
		2	第 編 国際社会の動向と日本の役 割(政治の変化 経済の動向 と国際協力 人類の課題	・主権や国際政治、国際経済などの諸問題を理解し、 国際社会における日本の役割や日本人の生き方 を考えます。
		3	宇宙船地球号)	
課題提出物等		・ノート ・ビデオの視聴後のレポート ・新聞記事に関するレポート など		

教 科	数学	単位 数	2	学 科	健康スポー ツ科	学 年	3	全 ／ 選	全
科 目	数学 A								
使用教科書		新高校数学 A（実教出版）							
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	平面図形、集合と論理及び場合の数と確率について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟をします。また、具体的な事象を数学的に考察し、処理するための能力を育てるとともに数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
評 価 方 法	<p>1 中間考査、期末考査、小テスト、プリント及び課題、授業態度、出席状況、その他などで評価します。</p> <p>2 学期及び学年の評価は、原則として中間考査と期末考査の成績で70%、その他の項目で30%の配分で評価します。</p>
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ1つの公式を覚えるだけでなく、学習の途中での見方や考え方をよく理解し、何が本質であるかを見抜くことが大切です。 ・ノートは、単に板書を写すだけでなく、手順やそこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。 ・例題等を参考とし積極的に練習問題等に取り組み、繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・集合や命題を図表示などを用いて理解しているか。 ・具体的な事象の考察を通して順列、組合せや確率について考えられるか。 ・実生活に数学的な見方や考え方が活用できることを認識しているか。 ・図形の性質の美しさを味わったり、図形を多面的にとらえたりするなど、その見方を豊かにしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・授業で使用するプリント ・授業ノートの整理 ・問題演習への取り組み
数学的な見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・集合の学習を通して、いろいろな事象や数学の諸概念を統合的に見ることの有用性を認識しているか。 ・集合を命題などの考察に生かし、論理的な思考ができるか。 ・不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識しているか。 ・図形の性質を見通しを持って論理的に考察できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
表 現・処 理	<ul style="list-style-type: none"> ・集合の考え方をを用いて具体的な事象について考察できるか。 ・具体的な事象を数学的に考察し、処理しているか。 ・図形の性質を表現したり、証明したりできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
知 識・理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・集合について理解する。命題について理解し、証明ができるか。 ・順列、組合せの用語や記号を理解し、利用ができているか。 ・具体的な事象の確率を求められるか。 ・三角形や円などの基本的な図形の性質について理解を深めているか。 ・図形に関する定理を理解し、証明ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト

3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	1章 集合と論理 1節 集合と要素の個数 1. 集合 2. 集合の要素の個数	・集合についての基本的な事項を理解し、統合的に 見ることの有用性を認識し、それらを命題などの 考察に生かすことができるようにします。 ・必要条件、十分条件、対偶、背理法などを理解し、 論理的な思考力を伸長する。また、背理法につい てその考え方を理解します。
		5	2節 命題と証明 1.命題と条件 2.逆・裏・対偶	
	期 末	5	2章 順列と組合せ 1節 順列 1. 場合の数 2. 順列	・順列の意味を理解し、順列を使った様々な考え 方ができるようにします。また、用語や記号の有 用性を理解し、具体的な事象の考察に活用でき るようにします。 ・組合せの意味を理解し、その総数を求められ るようにし、二項定理を理解します。また、用語 や記号の有用性を理解し、具体的な事象の考察 に活用できるようにします。
		6	2節 組合せ 1. 組合せ	
		7	2. パスカルの三角形と二項定理	
2 学 期	中 間	9	3章 確率 1節 確率とその基本性質 1. 事象と確率 2. 確率の基本性質	・確率の基本性質について理解し、不確定な事 象を数量的にとらえることの有用性を理解しま す。 ・独立試行における確率、反復試行の確率及び 期待値について理解し、日常生活における様々 な事象に活用できるようにします。
		10	2節 いろいろな確率の計算 1. 独立な試行とその計算 2. 期待値	
	期 末	10		・三角形の辺の長さや角の大きさの関係を、内 角・外角の二等分線と辺の比、重心、外心、内 心について理解し、図形の性質を論理的に考察 し、的確に表現する能力を育成します。
		11	4章 平面図形 1節 三角形の性質 1. 三角形の辺と角 2. 三角形の五心	
		12		
3 学 年 末	学 年 末	1	2節 円の性質 1. 円周角 2. 円の接線 3. 2つの円 4. 方べきの定理	・四角形が円に内接する条件や方べきの定理、 二つの円の位置関係などを理解し、図形に対 する直観力・洞察力を養うとともに、図形の性 質を論理的に考察し、的確に表現する能力を育 成します。
		2		
		3		
課題提出物等			必要に応じてノート及び授業中に使用したプリント等。	

教 科	理科	単位 数	2	学 科	普通科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	理科総合 A								
使用教科書		改訂版 理科総合 A（数研出版）							
副 教 材 等		改訂版 ニューライフ理科総合 A（数研出版）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<p>1 自然の事物・現象について、観察や実験などを通してエネルギーと物質について理解できるようにします。</p> <p>2 自然と人間のかかわりについて考察し、自然に対する総合的な見方や考え方を養います。</p>
評 価 方 法	<p>考查評価、課題プリント、各種レポート、授業中の発問に対する応答、実験・観察の取り組み状況を総合的に評価します。</p>
生徒へのアドバイス	<p>実験レポートなどの提出物は、期限までに必ず提出してください。授業では、ノートをきちんととり、試験勉強に活用してください。</p>

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<p>自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、科学的態度を身につけている。</p>	<p>・授業中の発表。</p> <p>・ノート提出。</p>
思考・判断	<p>エネルギーの考え方と物質の成り立ちを中心とした視点で、自然を総合的に考察することができる。</p>	<p>・実験レポート提出</p>
観察・実験の 技能・表現	<p>自然の事物・現象を科学的に探求するための基礎的な実験技術を身につけられた。</p> <p>実験・観察の結果を科学的に考察し、さまざまな現象の説明ができる。</p>	<p>・実験への取り組み。</p> <p>・実験レポート提出。</p>
知 識・理 解	<p>エネルギー、物質と人間生活とのかかわりという視点で、重要な科学の基礎概念や原理法則を理解し、自然を科学的な目で見ることができるようになった。</p>	<p>・中間・期末テスト。</p>

3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	序章 自然の探求 第1編 私たちの暮らしと物質	・これから学習する物質とエネルギーについて身近な例を示し、それらが日常の生活に大きく関わっていることに気付きます。
		5	第1章 物質の構成と変化 第1節 物質の構成単位	・原子、分子、イオンとその結合についての基礎を理解します。 ・物質の状態変化及び化学変化における原子分子、イオンの状態をエネルギーと関連させて理解します。
	期 末	5	第2節 物質の変化	・平易な例を取り上げ、物質を構成する粒子の化学結合状態の変化により、物質の性質が変わることと、それらの変化にはエネルギーの出入りが伴うことを理解します。
		6		
		7	第2章 物質の利用	・人間生活と関わりの深い物質の特性と利用、及び物質の製造にエネルギーが必要であることを理解します。 ・生物が有用な物質を作ること及び生物体内の化学反応の精妙さについて理解します。
2 学 期	中 間	9		
		10	第2編 私たちの暮らしと資源・エネルギー 第1章 いろいろなエネルギー	・基本的な力と仕事の関係並びに位置及び運動エネルギーと仕事の相互の関係を理解します。 ・電流による発熱や仕事など、熱と仕事を中心としたエネルギーの基礎について理解します。
	期 末	10	第1節 運動の表し方 第2節 力と運動 第3節 仕事	・太陽エネルギーは仕事に変えられたり、生物のエネルギー源になったりすること及びエネルギーは変換されるが、その総量は保存されることを理解します。
		11	第4節 力学的エネルギー 第5節 熱とエネルギー 第6節 電気エネルギー	
		12	第2章 資源の開発と利用 第1節 いろいろなエネルギー資源	
3 学 年 末	学 年 末	1	第2節 エネルギー資源の利用 第3節 金属資源とその利用 第4節 非金属資源とその利用	・蓄積型の化石燃料と原子力及び非蓄積型の水力と太陽エネルギーなどの特性や有限性、及びその利用などについて理解します。 ・金属や非金属資源の特性や有限性、資源調査の方法や開発と再利用について理解します。 ・科学技術の成果と今後の課題について考察し、科学技術と人間生活とのかかわりについて探求します。
		2		
		3		
課題提出物等		・授業プリント ・授業ノート ・問題集 ・実験 ・観察レポート		

教 科	外国語	単 位 数	2	学 科	健康スポー ツ科	学 年	3	全 / 選	全
科 目	英語 II								
使用教科書		Viva English II NEW EDITION （第一学習社）							
副教材等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	英語の基本的な知識や読み書きの能力を身につけつつ、目的や場面に応じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を育てる。
評 価 方 法	原則として各学期に行われる定期考査の得点で 7 割、日常の学習における課題の提出、授業の取り組み姿勢、小テストなどで 3 割の総合評価とする。
生徒へのアドバイス	易しい例文を声に出して読み、覚えること。基本的な文法事項は反復練習を行い、同じ問題を繰り返し解くこと。できるだけ多くの単語を覚えること。授業に積極的に参加し、復習を確実に行うことが大切です。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動（発言や質問、ノート整理）を積極的に行っているか。 ・課題をきちんと提出しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況の確認 ・授業を受ける態度の観察 ・ノートや課題の点検
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を正確に音読できるか。 ・英語を聞いて相手が伝えたいことを把握できるか。 ・伝えたいことを英語で表現できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト（音読・リスニング） ・オーラルテスト ・Team Teaching での理解度
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力は身につけているか。 ・学習した表現を用いて英文が書けるか。 ・伝えたいことを英語で表現できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト（単語） ・課題テスト ・定期考査のライティング問題
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力は身につけているか。 ・教科書の英文を理解し、適切な日本語にまとめられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト（単語） ・授業での Q&A ・定期考査のリーディング問題
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・言語やその運用についての知識が身につけているか。 ・背景にある文化などを理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での Q&A ・レポート、定期考査の言語運用に関する問題

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	Lesson 5 Universal Design	・ユニバーサルデザインの7原則 ・関係代名詞（非制限用法）what
		5	Lesson 6 Tuvalu	・水没の危機にあるツバル国 ・関係副詞/ 分詞構文
		6	Lesson 7 “Lovin’ You”	・Minnie Riperton の生き様 ・S + V + O（節） ・S + V + O + O（節）
		7		
2 学期	中 間	9	Lesson 8 The Importance of Make-believe	・「ごっこ遊び」の重要性 ・知覚動詞構文 ・使役動詞構文
		10		
	期 末	10	Lesson 9 Flying Wheelchair	・「空飛ぶ車椅子」活動 ・強調構文、部分否定
		11		
		12	Lesson 10 “Mottainai”	・日本人が忘れかけている精神 ・仮定法過去 ・仮定法過去完了
3 学期	学 年 末	1	Lesson 10 “Mottainai”	・日本人が忘れかけている精神 ・仮定法過去 ・仮定法過去完了
課題提出物等		1 学習の進度に応じてノートの提出 2 随時プリントなどの提出		

教 科	体育	単 位 数	1	学 科	健康スポー ツ科	学 年	3	全 / 選	全
科 目	体育理論								
使用教科書		現代保健体育（大修館）							
副 教 材 等		なし							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	体育・スポーツの意義やすばらしさを理解するとともに、運動技能や体力を合理的に向上させるための科学的知識や方法を習得します。
評 価 方 法	定期考査と、提出物や出席等の平常点を加味して評価します。
生徒へのアドバイス	授業での知識等を理解し実践できるようにすることはもちろん、新聞やテレビ等のスポーツの大会や報道に接するなど、日常から体育・スポーツに関心を持って生活してください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	体育やスポーツの運営について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む	授業への参加意欲の観察 提出物の読み取り テスト
思 考 ・ 判 断	運動における安全や運営管理について学んだことを、自らの日常生活の中で実践しようとし、工夫している	授業への参加意欲の観察 提出物の読み取り テスト
知識・理解	運動における安全管理の重要性や、体育やスポーツの運営管理について正しい知識を身につけている	授業での態度の観察 提出物の読み取り テスト

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	運動と安全 ウォーミングアップとクーリングダウン	ウォーミングアップやクーリングダウンの効果や実施方法について理解します。
		5	スポーツ障害とその予防法	代表的なスポーツ障害の原因とその予防法について理解します。
	期 末	5	スポーツでの事故と応急処置	スポーツで起こりうる事故とその原因、またその応急処置について理解します。
		6	スポーツ栄養の基礎 スポーツと水分補給	スポーツに必要な栄養素や水分補給の重要性について理解します。
		7	評価	期末考査
2 学期	中 間	9	体育・スポーツの運営管理 地域スポーツとスポーツ指導者	地域スポーツにおけるスポーツ指導者の役割について理解します。
		10	スポーツ指導者の資質	スポーツ指導者になる上で必要な資質や能力について理解します。
	期 末	10	これからのスポーツ指導者とは	これからの社会で求められる理想のスポーツ指導者像について理解します。
		11	スポーツ大会を企画する場合の注意点	スポーツ大会を企画する上での注意点について理解します。
		12	評価	期末考査
3 学 年 期 末	学 年 末	1	スポーツ大会を企画しよう 評価	実際にスポーツ大会を企画します。 レポートによる評価
		2		
		3		
課題提出物等	各種レポート			

教 科	体育	単 位 数	1	学 科	健康スポー ツ科	学 年	3	全 / 選	全
科 目	体づくり運動								
使用教科書									
副 教 材 等		ビジュアルスポーツ（大修館）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	・体づくり運動の特性を理解し、体ほぐしをしたり、体力を高めたりするとともに、自己の体力や生活に応じた体づくり運動を構成し活用することができる資質や能力を育てる。
評 価 方 法	・体ほぐしや体力の向上を積極的に取り組めたか。 ・ねらいに応じた体づくり運動を構成し、積極的に取り組めたか。 ・服装や出席、参加態度を重視する。
生徒へのアドバイス	・基礎的な体力をつけていく上で必要な運動を行うので、継続的かつ積極的に行って欲しい。 ・授業を遅刻、欠席、見学せずに参加して欲しい。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・関心や意欲を高めるとともに、楽しさや心地よさを味わえるよう互いに協力して進んで運動をしようとする。健康や安全に留意して運動をしようとする。	・取り組み
思考・判断	・自分の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を工夫している。	・工夫して行なっているか。
運動の技能	・自分の生活や体力に応じて、体力を合理的に高めるための運動ができる。	・実技試験
知識・理解	・体づくり運動の意義や適切な行い方、心身への効果を理解するとともに、ねらいに即した体づくり運動の組み立て方を理解し、知識を身につける。	・筆記試験

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	・オリエンテーション ・身体計測	・年間計画をする。 ・身体計測の方法を知る。
		5	・ストレッチングの仕方	・ストレッチングの実践を通じて正しい方法を学ぶ。
	期 末	5	・リズムに乗った運動	・リズム運動を通じて動くことの楽しさ、心地よさを体感する。
		6	・手具や用具を活用した運動	・基礎的な技能を習得し、更に発展した動きを創作する。
		7	・評価	・実技試験
2 学期	中 間	9	・水泳	・全身運動をすることにより体力を高める。
		10	・パワー系トレーニング	・様々な部位の筋肉を鍛えるトレーニングがあることを学ぶ。
	期 末	10	・階段上り	・心肺機能を高めるとともに、特に下半身を鍛える意識を持つ。
		11	・ジョギング	・スタミナづくりだけでなく健康を維持増進させるためにも必要であることを理解する。
		12	・評価	・実技試験
3 学期	学 年 末	1	・走力トレーニング	・持久走を行うことにより全身持久力を高める。
		2	・マラソン大会 ・インターバルトレーニング	・多くの運動を短い時間に数多くこなすことにより、体力が付くことを実感する。
		3	・評価	・実技試験
課題提出物等	体調不良等の理由で授業に参加できない（見学する）者については、別にレポートを課す場合があります。			

教 科	体育	単 位 数	2	学 科	健康スポー ツ科	学 年	3	全 / 選	全
科 目	スポーツ								
使用教科書		なし							
副 教 材 等		ビジュアルスポーツ（大修館）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	採点競技及び測定競技の特性について理解させ、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技ができる能力と態度を身につけます。
評 価 方 法	学期内に実施した種目の実技試験を実施し、授業態度や授業への取り組み方等を加味して評価します。
生徒へのアドバイス	スポーツ のねらいを自覚し、積極的に取り組んでください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
思考・判断	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、工夫している	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
技能	運動技能を高めている 体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付ける	授業での態度の観察 スキルテストや記録会の結果分析
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方、 体ほぐしの意義等の基礎的な事項を理解し、 知識を身に付ける	授業での態度の観察 個人カードの記述の読み取り

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション 陸上競技（リレー）	陸上競技（リレー）の特性を理解する。
		5	スポーツテスト	スポーツテストを実施し、自己の能力やレベルを知ります。
	期 末	5	陸上競技（リレー）	陸上競技（リレー）の特性を理解します。
		6	水泳	水泳競技の特性を理解します。
		7	評価	実技試験
2 学期	中 間	9	水泳	水泳競技の特性を理解します。
		10	器械運動（マット）	器械運動（マット）の特性を理解します。
	期 末	10	器械運動（マット）	器械運動（マット）の特性を理解します。
		11	器械運動（マット）	器械運動（マット）の特性を理解します。
		12	評価	実技試験
	3 学 期	1	陸上競技（中・長距離）	陸上競技（中・長距離走）の特性を理解します。
		2		
		3		
課題提出物等	体調不良等の理由で授業に参加できない（見学する）者については、別にレポートを課す場合があります。			

教 科	体育	単位 数	3	学 科	健康スポー ツ科	学 年	3	全 ／ 選	全
科 目	スポーツ								
使用教科書									
副 教 材 等		ビジュアルスポーツ（大修館）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	・ ニュースポーツ・ゴルフ・アーチェリーの特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができる資質や能力を育てます。
評 価 方 法	・ 積極的に取り組んでいるか評価します。 ・ 審判法を確実にできたか評価します。 ・ 服装や出席、参加態度を重視します。
生徒へのアドバイス	・ その種目のスペシャリストを育成すべく授業を行なうので積極的に行ってください。 ・ 授業を遅刻、欠席、見学せずに参加してください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・ 自分の役割を自覚して、責任を果たす。互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また練習場などの安全を確かめ、健康、安全に留意して練習やゲームをしようとする。	・ 取り組み
思考・判断	・ 個人の能力に応じた課題を設定し、その課題の解決を目指して、練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。	・ 工夫して行なっているか。
運動の技能	・ 個人の課題や自分の能力に応じて、各種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	・ 実技試験
知識・理解	・ 各種の運動の意義や適切な行い方、心身への効果を理解するとともに、ねらいに即した運動の組み立て方を理解し、知識を身につける。	・ 筆記試験

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	・オリエンテーション	・年間計画を理解する。 ・ニュースポーツ・ゴルフ・アーチェリーについて理解を深める。
		5	・インディアカ ・ゴルフ ・アーチェリー	・基礎を身に付ける。
	期 末	5	・インディアカ ・ゴルフ ・アーチェリー	・ルールを理解する。 ・マナーを身に付ける。
		6	・インディアカ ・ゴルフ ・アーチェリー	・ゲームの運営と確実な審判法を学ぶ。 ・ルールを理解する。 ・マナーを身に付ける。
		7	・評価	・実技試験を実施する。
2 学期	中 間	9	・ソフトバレーボール ・ゴルフ ・アーチェリー	・基礎を身に付ける。 ・ゲームの運営と確実な審判法を学ぶ。
		10	・ソフトバレーボール ・ゴルフ ・アーチェリー	・ゲームの運営と確実な審判法を学ぶ。
	期 末	10	・ピロポロ ・ゴルフ ・アーチェリー	・基礎を身に付ける。 ・ゴルフ・アーチェリーについて理解を深める。
		11	・ピロポロ ・ゴルフ ・アーチェリー	・ルールを理解する。 ・マナーを身に付ける。 ・ゲームの運営と確実な審判法を学ぶ。
		12	・評価	・実技試験を実施する。
3 学 期	学 年 末	1	・ゲートボール ・ゴルフ ・アーチェリー	・基礎を身に付ける。
		2		
		3		
課題提出物等	体調不良等の理由で授業に参加できない（見学する）者については、別にレポートを課す場合があります。			

教 科	体育	単 位 数	1	学 科	健康スポー ツ科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	スポーツ （柔道）								
使用教科書									
副 教 材 等		ビジュアルスポーツ（大修館）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	基本動作や対人技能を身につけ、得意技を生かした練習や試合ができるようにする自己の能力に応じた技を選び、相手の動きに対応した攻防ができ、試合で生かせるようにする。 相手を尊重する態度、礼儀正しい態度、公正な態度を身につける。安全に留意して練習や試合ができるとともに、相手との攻防の中で全身的な体力を高めたり、忍耐力など精神力の向上を図ることができるようにする。
評 価 方 法	相手に対する礼節ができている。 投げ技・抑え技の技能ができている。 試合・審判法ができている。
生徒へのアドバイス	授業に欠席・見学をせずに参加すること。 怪我をしないように授業に集中して参加すること。 技術の習得のため反復練習を行う。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	柔道の楽しさや喜びを味わえるよう自ら進んで運動しようとする。 公正な態度で運動し、安全に留意して運動しようとする。	柔道らしい動作や身のこなしを習得しているか。自ら進んで練習しているか。練習や試合では、審判の判定や指示に従うとともに、仲間と協力して教え合おうとしているか。
思考・判断	自己の能力に応じた課題を設定し、課題の解決を目指した練習方法を工夫している。	授業への参加意欲の観察をする。 個人やグループのカードの読み取りを行う。
技能	自己の能力に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、体力を高める柔道の技能を合理的に行っている。	実技試験を行なう。 授業場面での態度等の観察を行う。
知識・理解	柔道の基礎的・歴史的知識を理解し、合理的な練習方法や審判方法及び試合の運営方法の仕方の知識を身につける。	伝統的な考え方・礼儀作法・動作を習得しているか。柔道の基本動作や対人的技能の構造を理解しているか。試合の運営方法や審判方法を理解しているか。

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	受け身 体さばき 崩し 2年次の技の復習 固め技の入り方と防ぎ方(足から)	2年次に行なった技の復習ができているか。固め技の入り方と防ぎ方を確実に一つずつ習得させる。
		5	固技の入り方と防ぎ方(背中から) 連絡技(小内から大内・大内から内股・背負いから体落とし)	固め技の入り方と防ぎ方を確実に一つずつ習得させる。連絡技を約束練習から自由練習の中で、掛けることができるようにする。
	期 末	5	固技の入り方と防ぎ方(背中から) 連絡技(小内から大内・大内から内股・背負いから体落とし)	固め技の入り方と防ぎ方を確実に一つずつ習得させる。連絡技を約束練習から自由練習の中で、掛けることができるようにする。
		6	連絡技(小内刈りから背負い投げ) 絞め技(裸絞め・送り襟絞め)	連絡技を約束練習から自由練習の中で、掛けることができるようにする。安全に留意し、お互いに協力して、絞め技を掛けることができるようにする。
		7	連絡技の復習 絞め技(片羽絞め・十字絞め)	自由練習の中で、連絡技が掛けられるようにする。安全に留意し、お互いに協力して、絞め技を掛けることができるようにする。
2 学期	中 間	9	1学期の復習 ルール 審判法 練習試合(紅白戦)	ルールや審判法を理解させる。 公正な態度で試合ができるようにする。
		10	団体戦(点取り試合・勝ち抜き試合) 試合運営法	応援やアドバイスなど、団体戦の醍醐味を理解するとともに、試合運営について理解する。
	期 末	10	団体戦(点取り試合・勝ち抜き試合) 試合運営法	応援やアドバイスなど、団体戦の醍醐味を理解するとともに、試合運営について理解する。
		11	個人戦(体重別・無差別) 試合運営法	個人戦の試合方法を理解するとともに、試合運営について理解する。
		12	個人戦(体重別・無差別) 試合運営法	個人戦の試合方法を理解するとともに、試合運営について理解する。
3 学期	学 年 末	1	団体戦・個人戦 大会運営法	生徒が自主的に大会運営ができるようにする。
		2		
		3		
課題提出物等	体調不良等の理由で授業に参加できない(見学する)者については、別にレポートを課す場合があります。			

教 科	体育	単 位 数	1	学 科	健康スポー ツ科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	スポーツ（剣道）								
使用教科書									
副 教 材 等		ビジュアルスポーツ（大修館）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	日本の伝統と歴史の中で生まれ育った「武道」のひとつであり，作法・技術・態度には，「自己実現」をめざした求道精神が根底にあることを理解できるようにする。相手を尊重する態度，ルールやマナーを大切にされた公正な態度を身につける。自己の技術に応じた基本動作や対人技能，試合・審判法を身につける。
評 価 方 法	相手に対する礼節ができている。 基本動作・対人技能ができている。 試合・審判法ができている。
生徒へのアドバイス	授業に欠席・見学をせずに参加すること。 怪我をしないように授業に集中して参加すること。 技術の習得のため反復練習を行う。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	剣道の楽しさや喜びを味わえるよう自ら進んで運動しようとする。 公正な態度で運動し，安全に留意して運動しようとする。	剣道らしい動作や身のこなしを習得しているか。自ら進んで練習しているか。防具を正しく装着するとともに，礼儀・礼法を守り，安全に留意して活動しているか。
思考・判断	自己の能力に応じた課題を設定し，課題の解決を目指した練習方法を工夫している。	授業への参加意欲の観察をする。 個人やグループのカードの読み取りを行う。
技能	自己の能力に応じた課題の解決を目指して運動を行なうとともに，体力を高める剣道の技能を合理的に行っている。	実技試験を行なう。 授業場面での態度等の観察を行う。
知識・理解	剣道の基礎的・歴史的知識を理解し，合理的な練習方法や審判方法及び試合運営方法の仕方の知識を身につける。	伝統的な考え方・礼儀作法・動作を習得しているか。気・剣・体の一致など剣道の基本動作や対人的技能の構造を理解しているか。試合のルールや審判方法を理解しているか。

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	二段打ち(面 面・面 胴) 三段打ち(面 面 面・小手 面 胴)	正しく打突ができるようにする。
		5	払い技(面・小手・ 胴) 出ばな技(面・小手) 互格稽古	正しく打突ができるようにする。
	期 末	5	払い技(面・小手・胴) 出ばな技(面・小手) 互格稽古	正しく打突ができるようにする。
		6	抜き技(小手抜き面・面抜き胴) 互格稽古	しっかり抜き打突ができるようにする。
		7	打ち込み 互格稽古	気合をしっかりと出して元気よく正しい打突ができるようにする。
2 学期	中 間	9	打ち込み 互格稽古	気合をしっかりと出して元気よく正しい打突ができるようにする。
		10	面体当たり(引き面・引き小手・引き胴) 面体当たり(面・小手 面)	腰と腕の位置が正しく相手に当たるようにする。 正確で流れるような体当たり, 打突, 引き技ができるようにする。
	期 末	10	面体当たり(引き面・引き小手・引き胴) 面体当たり(面・小手 面)	腰と腕の位置が正しく相手に当たるようにする。 正確で流れるような体当たり, 打突, 引き技ができるようにする。
		11	審判法 反則 罰則 評価 試合 班によるリーグ戦	場外, 罅迫り合いの反則を理解できるようにする ルール, 審判法の理解と実践, 礼法, 公正な試合態度を身につける。
		12	審判法 反則 罰則 評価 試合 班によるリーグ戦	場外, 罅迫り合いの反則を理解できるようにする 生徒の自主的な試合運営ができるようにする。 試合の中で, 正確な打突ができているか評価する
3 学 期	学 年 末	1	審判法 反則 罰則 評価 試合 班によるリーグ戦	生徒の自主的な試合運営ができるようにする。 試合の中で, 正確な打突ができているか評価する
		2		
		3		
課題提出物等	体調不良等の理由で授業に参加できない(見学する)者については、別にレポートを課す場合があります。			

教 科	体育	単 位 数	1	学 科	健康スポ ーツ科	学 年	3	全 選	全
科 目	野外活動								
使用教科書									
副 教 材 等		ビジュアルスポーツ（大修館）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	自然とのかかわりの深い野外の運動の特性について理解し、その知識と技能を習得できるようにするとともに、自然の中での行動の仕方を身につけ、自然に親しむことができる資質や能力を育てます。
評 価 方 法	実習の態度・取り組みやレポート等を考慮して成績を出します。
生徒へのアドバイス	マリンスポーツ実習はもちろん、普通の授業も欠席せず、積極的に取り組んでください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業・実習への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
思考・判断	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、工夫している	授業・実習への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
技能	野外活動（マリンスポーツ）について指導法や実技を身に付ける。	授業・実習での態度や行動等の観察
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方。 野外活動（実習）の意義等の基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける	授業・実習での態度の観察 実習日誌の提出

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション 集団行動	マリン実習の概略を理解します。 集団としての秩序を保てるようにします。
		5	スポーツテスト マリンスポーツの特性・歴史	自己の能力を理解します。 特性や歴史を理解します。
	期 末	5	基礎体力づくり（筋力・敏捷性等）	実習に備え、基礎体力を身につけます。
		6	基礎体力づくり（瞬発力・巧緻性）	実習に備え、基礎体力を身につけます。
		7	マリンスポーツ理論 実習	マリンスポーツの理論を理解します。 実習により実技を行ないます。
2 学期	中 間	9	実習の反省	マリン実習を振り返り、仲間同士で反省会を行ない ます。
		10	ビデオ視聴	マリン実習を振り返り、仲間同士で反省会を行ない ます。
	期 末	10	野外活動指導法	野外活動（自然体験実習）の企画・立案作成につい て理解します。
		11	野外活動指導法	野外活動（自然体験実習）の指導法を理解します。
		12	野外活動指導法	野外活動（自然体験実習）の指導法を理解します。
3 学期	学 年 末	1	野外活動授業の評価	野外活動授業の評価を行い、今後のよりよい野外活 動授業のために、話し合います。
		2		
		3		
	課 題 提 出 物 等		実習日誌、各種レポート等	

教 科	国語	単 位 数	2	学 科	健康スポーツ科 普通科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	国語表現								
使用教科書	国語表現 改訂版（教育出版）								
副 教 材 等	なし								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 国語を使って適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。 2 思考力を伸ばし言語感覚を磨く。 3 進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。
評 価 方 法	中間・期末考査の成績、演習プリント(内容・提出状況)、演習(内容・提出状況)、 発表の内容・態度、発表を聞く態度、学習活動への参加状況を総合的に判断して 評価します。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・普段何げなく使っている言葉であるが、「伝え合う」ための重要な手段であることを認識し、意識して使っていく態度が必要です。また、学んだことを即座に日々の実践に生かす態度をもって、様々な場面に活確かな学力を身につけていく態度が重要です。 ・演習プリントは、答えをそのまま暗記するのではなく、実際に言葉を使う場面を常に想定して考えると、自然に身に付いてきます。 ・この学習を通して言語の感覚を磨き、様々な文章に自ら触れる機会を自分で見つけてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・言語に対する関心を進んで持とうとしているか。 ・関心・意欲・態度・他を尊重する態度でしっかり聞くことができているか。 ・工夫して自己を表現する取り組みをしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方、態度 ・演習プリント・演習
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面に応じた適切な言葉遣いができるか。 ・話し手の発言の内容を的確に聞き取っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方、態度 ・授業中の発表
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を適切に処理しているか。 ・目的に応じて適切に文章に書いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演習プリント、演習 ・定期考査
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を的確に読みとっているか。・夏休みの課題 ・様々な文章に進んで触れようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方、態度
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい表現に役立てるための国語の知識を得ることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・演習プリント

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	1 ことばに代える 早く正確に書き写す 絵をことばにする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正確なことば遣いを身につけさせる。 ・ 「表現」は伝え合う力であることを理解させる。 ・ わかりやすい表現の基礎を理解させる。
		5	5 ことばと人間 とばの性質を知る。 ・ 国語表現プリント ・ 漢字プリント	
	期 末	5	文章表現の基本 主題の立て方 取材の仕方 構成を工夫する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原稿用紙の基本的な使い方を理解させる。 ・ 品詞語彙等の基礎的な知識を理解させる。 ・ 情報の収集や整理のしかたについて理解させる。 ・ 簡単なテーマを決めてレポートを書いてみる。
		6	悪文チェック	
		7	6 小論文・レポートを書く 歴書の書き方 志望理由書の書き方	
2 学期	中 間	9	6 小論文・レポートを書く 論文の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論理的な文章の体裁について理解する。 ・ 全員同一のテーマを決めて小論文を作成する
		10		
	期 末	10	5 ことばと人間 ことばの性質を知る 関係に働きかけることば 日本語の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬語について理解する。 ・ 現代社会における手紙の効用について理解する。 ・ 手紙の形式を理解する。 ・ 恩師に宛てて手紙を書く(演習)。 ・ 話し言葉の特徴について理解する。
		11	トカ弁 ・ 国語表現プリント	
		12		
3 学期	学 年 末	1	7 会話・会議・発表 会話の目的と機能 外来語と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ より良いコミュニケーションをとるために様々な工夫が必要であることを理解させる。 ・ ことばのマナーについて理解させる。
		2		
		3		
課題提出物等	授業中で使用する各種演習プリント・演習(手紙・レポート・小論文)			

教 科	公民	単 位 数	2	学 科	普通科・健 康スポーツ 科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	政治経済								
使用教科書		高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習社）							
副 教 材 等		資料 政治経済 （東学）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 広い視野にたつて、民主主義の本質を理解する。 2 現代の政治経済・国際関係に関する興味・関心をひきだし、その客観的な理解をはかる。 3 現代の政治経済の諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決策について考える
評 価 方 法	定期考査 7 割 平常点（授業への取り組み、レポート等） 3 割
生徒へのアドバイス	1 日々の授業が基本。教科書・資料集などを丁寧に読み、説明に謙虚に耳を傾けてほしい。 2 疑問におもったことを大切にしてほしい。自分で調べてみると社会への興味は一段と深まるはずである。 3 新聞やテレビで報道される事柄に注意をはらい、学習内容と関連づけるようにしてほしい。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	政治経済の諸問題への関心をたかめ、その解決にむけて、考えかつ努力する意欲と態度を養う。	教科書 提出物 ノート 授業への姿勢
資料活用・表現	教科書や資料集の写真・グラフ・図版、新聞記事・ニュース番組等を読み解き、政治経済の出来事を豊かで深みのあるものとしてとらえ、その過程や結果をさまざまな方法で表現する。	資料の収集 資料の解釈 発表
思考・判断	資料の解釈・分析をとおして、政治経済的事項の関連や背景・因果関係をさぐり、判断する。	発言 発表 提出物 定期考査
知識・理解	政治経済に関する基本的事項への理解を深める。	定期考査 提出物

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	第 編現代の政治 第 1 章日本国憲法の基本的性格 日本国憲法の成立	日本国憲法の成立過程をふまえ、憲法の三大原理を把握される。 とくに新しい人権について考える。 冷戦終結後の日本の安全保障について考える。
		5	基本的人権の保障 平和主義と憲法	
	期末	5	第 2 章日本国憲法と政治機構 国会と内閣 裁判所 地方自治	三権および地方自治など日本の統治機構に関する理解をふかめ、その課題について考察させる。
		6	第 3 章現代の民主政治 基本原理 世界の主な政治体制 政党政治と選挙	民主主義の原理や発展について理解させる。 日本の政党政治や選挙制度の特質を把握させ、望ましい政治や参政のあり方について考察させる。
		7	現代民主政治の特質と課題	
2 学期	中間	9	第 4 章現代の国際政治 国際法 国際連合 国際政治の動向 国際社会と日本の役割	国際関係の基本的事項への理解を深め、現代世界の諸問題について考えさせる。
		10	第 編現代の経済 第 1 章現代経済のしくみ 資本主義 社会主義 市場 経済成長 景気変動 金融・財政	基本的な経済のしくみについて理解させる。
	期末	10	第 2 章現代経済と福祉の向上 日本経済のあゆみ 中小企業と農業	日本経済が直面する課題について理解し、今後の展望について考察させる。
		11	消費者問題 公害問題 労働関係 社会福祉 第 3 章国際経済の動向 国際経済のしくみと動向 発展途上国の諸問題	国際経済の基本的なしくみについて理解させる。 地域統合や経済摩擦、南北問題など国際経済をとりまく課題を理解させる。
		12	国際経済と日本の役割	
3 学期	学年末	1	第 編現代社会の諸問題 第 1 章現代日本の諸問題 第 2 章国際社会の諸問題	政治経済に関する基本的理解をふまえ、現代の政治や経済の諸課題を主体的に解決する態度を養う。
		2		
		3		
課題提出物等	ノート 課題プリント ビデオ視聴後のレポート等			

教 科	数学	単 位 数	2	学 科	普通科・健 康スポーツ 科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	数学B								
使用教科書	新版数学B（実教出版）								
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	数列，ベクトル，統計又は数値計算について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを活用するようにします。
評 価 方 法	1 中間考查、期末考查、小テスト、プリント及び課題、授業態度、出席状況 その他などで評価します。 2 学期及び学年の評価は、原則として中間考查と期末考查の成績で70%、 その他の項目で30%の配分で評価します。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートは、単に板書を写すだけでなく、手順やそこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。 ・授業中に感じた疑問などはそのままにせず，必ず質問をするように心がけましょう。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数列について関心をもち，数列の一般項や和について調べてみようとしているか。 ・ベクトルについて関心をもち，進んで調べてみようとし，ベクトルを用いて図形の性質を調べてみようとしているか。 ・統計資料の整理のしかたや代表値について興味・関心をもち，調べてみようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・授業で使用するプリント ・授業ノートの整理 ・問題演習への取り組み
数学的な見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の一般項や和を求める過程を理解しているか。 ・帰納的に定義された数列の一般項を求める過程を考察しているか。 ・ベクトルの演算に関する性質を導く過程を考察することができ，ベクトルを用いて平面図形の性質を導く過程を考察することができるか。 ・相対度数を用いることのよさについて考察することができる。平均値・メジアン・モードのそれぞれの特徴を考察することができるか。 ・標準偏差を導く過程を考察することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考查、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
表 現・処 理	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の一般項や和を求めることができるか。 ・ベクトルの計算を正しく行うことができ，ベクトルを用いて図形の性質を導くことができるか。 ・度数分布表をついたり，代表値を正しく求めたり，表計算ソフトを用いたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考查、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
知 識・理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・数列に関する用語や公式，数学的帰納法について理解しているか。 ・ベクトルに関する用語や公式について理解しているか。 ・統計に関する用語や公式について理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考查、小テスト

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	1 章 数列 1 節 数列とその和 1 . 数列	・ 等差数列，等比数列など簡単な数列について一般項や第 n 項までの和について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し，処理できるようにします。 ・ 記号 や階差数列について理解し，それらを用いて事象を数学的に考察し，処理できるようにします。
		5	2 . 等差数列	
	期 末	5	3 . 等比数列	
		6	4 . いろいろな数列の和	
		7	5 . 階差数列	
2 学期	中 間	9	2 章 ベクトル 1 節 平面上のベクトル 1 . ベクトルとその意味 2 . ベクトルの演算	・ 平面上のベクトルについて，その意味，相等，加法，減法，実数倍について理解します。 ・ 2 つのベクトルのなす角や成分表示に関連付けて，ベクトルの内積の意味を理解し，平面図形の考察に活用できるようにする。
		10	3 . ベクトルの成分 4 . ベクトルの内積	
	期 末	10	5 . ベクトルの平行と垂直	
		11	2 節 ベクトルの応用 1 . 位置ベクトル	・ 位置ベクトルを活用することによって，平面図形の性質の考察に活用できるようにします。
		12	2 . いろいろな応用	
3 学期	学 年 末	1	3 章 統計とコンピュータ 1 節 資料の整理 1 . 統計とグラフ 2 . 度数分布表 2 節 資料の分析 1 . 資料の代表値 2 . 資料の散らばり	・ 度数分布表によって資料を整理できるようにします。 ・ 代表値として平均値，メジアン，モードを理解し，資料の散らばりの度合いを分散や標準偏差によって理解し，求められるようにします。
		2		
		3		
課題提出物等 ・ 必要に応じてノート及び授業中に使用したプリント等。				

教 科	理科	単位 数	2	学 科	普通科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	理科総合 A								
使用教科書		改訂版 理科総合 A（数研出版）							
副 教 材 等		改訂版 ニューライフ理科総合 A（数研出版）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<p>1 自然の事物・現象について、観察や実験などを通してエネルギーと物質について理解できるようにします。</p> <p>2 自然と人間のかかわりについて考察し、自然に対する総合的な見方や考え方を養います。</p>
評 価 方 法	<p>考查評価、課題プリント、各種レポート、授業中の発問に対する応答、実験・観察の取り組み状況を総合的に評価します。</p>
生徒へのアドバイス	<p>実験レポートなどの提出物は、期限までに必ず提出してください。授業では、ノートをきちんととり、試験勉強に活用してください。</p>

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<p>自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、科学的態度を身につけている。</p>	<p>・授業中の発表。</p> <p>・ノート提出。</p>
思考・判断	<p>エネルギーの考え方と物質の成り立ちを中心とした視点で、自然を総合的に考察することができる。</p>	<p>・実験レポート提出</p>
観察・実験の 技能・表現	<p>自然の事物・現象を科学的に探求するための基礎的な実験技術を身につけられた。</p> <p>実験・観察の結果を科学的に考察し、さまざまな現象の説明ができる。</p>	<p>・実験への取り組み。</p> <p>・実験レポート提出。</p>
知 識・理 解	<p>エネルギー、物質と人間生活とのかかわりという視点で、重要な科学の基礎概念や原理法則を理解し、自然を科学的な目で見ることができるようになった。</p>	<p>・中間・期末テスト。</p>

3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	序章 自然の探求 第1編 私たちの暮らしと物質	・これから学習する物質とエネルギーについて身近な例を示し、それらが日常の生活に大きく関わっていることに気付きます。
		5	第1章 物質の構成と変化 第1節 物質の構成単位	・原子、分子、イオンとその結合についての基礎を理解します。 ・物質の状態変化及び化学変化における原子分子、イオンの状態をエネルギーと関連させて理解します。
	期 末	5	第2節 物質の変化	・平易な例を取り上げ、物質を構成する粒子の化学結合状態の変化により、物質の性質が変わることと、それらの変化にはエネルギーの出入りが伴うことを理解します。
		6		
		7	第2章 物質の利用	・人間生活と関わりの深い物質の特性と利用、及び物質の製造にエネルギーが必要であることを理解します。 ・生物が有用な物質を作ること及び生物体内の化学反応の精妙さについて理解します。
2 学 期	中 間	9		
		10	第2編 私たちの暮らしと資源・エネルギー 第1章 いろいろなエネルギー	・基本的な力と仕事の関係並びに位置及び運動エネルギーと仕事の相互の関係を理解します。 ・電流による発熱や仕事など、熱と仕事を中心としたエネルギーの基礎について理解します。
	期 末	10	第1節 運動の表し方 第2節 力と運動 第3節 仕事	・太陽エネルギーは仕事に変えられたり、生物のエネルギー源になったりすること及びエネルギーは変換されるが、その総量は保存されることを理解します。
		11	第4節 力学的エネルギー 第5節 熱とエネルギー 第6節 電気エネルギー	
		12	第2章 資源の開発と利用 第1節 いろいろなエネルギー資源	
3 学 期	学 年 末	1	第2節 エネルギー資源の利用 第5節 金属資源とその利用 第6節 非金属資源とその利用	・蓄積型の化石燃料と原子力及び非蓄積型の水力と太陽エネルギーなどの特性や有限性、及びその利用などについて理解します。 ・金属や非金属資源の特性や有限性、資源調査の方法や開発と再利用について理解します。 ・科学技術の成果と今後の課題について考察し、科学技術と人間生活とのかかわりについて探求します。
		2		
		3		
課題提出物等		・授業プリント ・授業ノート ・問題集 ・実験 ・観察レポート		

教 科	芸術	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	音楽								
使用教科書	Joy of Music 教育芸術社								
副教材等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 音楽に対する興味、関心を深め、意欲的に音楽活動に取り組む姿勢を身につけます。 2 音楽１・２を基に音楽をとおして自分を知り、自己表現する能力を養います。
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を７０％，学習活動への参加の仕方や態度を３０％として行います。
生徒へのアドバイス	1 遅刻・欠席をしないでください。 2 楽器、楽譜などは常に大切に扱ってください。 3 毎時間の授業は積極的に参加してください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 音楽上の幅広いジャンルに対して興味関心を高めているか。 2 意欲的に楽曲演奏に取り組むと共に、鑑賞教材の視聴等における集中力の維持、アンサンブルにおける他パートとの協調性や積極性などの確に行動できるか。	・演奏活動への参加の仕方や態度 ・プリント、ノート等の提出状況
芸術的な感受や表現の工夫	1 楽曲の特質を知ったうえでそれが生み出す曲想や美しさを感じ取り、表現の工夫をしているか。	・実技テストの内容 ・演奏発表の内容 ・授業時の練習の態度や工夫
創造的な表現の技能	1 楽曲から感じ取ったイメージを創造的に表現する技能を身につけているか。 2 楽譜に示された記号や標語の意味を把握し、それらが示している曲想を感じ取り表現する技能を身につけているか。	・実技テストの内容 ・授業時における表現方法
鑑賞の能力	1 鑑賞教材の演奏法、楽器の特徴、構造を理解して聞き取っているか。	・鑑賞ノートの内容 ・授業時における鑑賞態度

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	・芸術歌曲に触れる。 S e l i g k e i t (ドイツ) かんぴょう (日本) 霧と話した ・ソルフェージュ (コンコーネより) ・音楽史 (近・現代) 竹満徹・ガーシュイン	・1・2年の基礎から発展的な芸術歌曲を歌います。 ・詩と曲の楽しさ・伴奏の美しさを味わいます ・高度なハーモニー能力を養います。 ・音楽史は身近な現代より指導します。
		5	・日本・世界のポピュラーソングに触れる。 島人ぬ宝・愛を止めないで・I m a g i n e ・I N e e d T o B e i n L o v e ・ソルフェージュ (ヴォカリーズ) ・音楽史 (印象主義) ドビュッシー・ラベル	・日本のフォークの流れ、ジャズや世界のポップスの変遷について歌唱・鑑賞と共にまなびます。 ・豊かな色彩の追求をした作曲家の演奏を学びます。
	期末	5	・ソルフェージュ (ヴォカリーズ) ・音楽史 (印象主義) ドビュッシー・ラベル	
		6	・日本の童謡の成立。 ・とんぼのめがね・やぎさんゆうびん・ぞうさん ・合唱曲麦藁帽子のアナリゼ ・音楽史 (ロマン派) チャイコフスキー	・耳慣れた童謡を楽譜と共に日本でのルーツを知り、改めて歌唱します。 ・邦人作曲家の良さを楽譜・詩を研究し紐解きます。 ・ヴィルトーソの世界を鑑賞します。
		7	・実技テスト (歌唱)	・演奏態度、項目別実技評価
2 学期	中間	9	・＜アンサンブルを楽しむ。＞ ・G線上のアリア ・宇宙戦艦ヤマト ・音楽史 (ロマン派ピアノ曲)	・アンサンブルを通して自分と他人の音・リズムを確実に聞き分け、音の融合感を味わいます ・ピアノの持つ華麗なる技法の追求をします。
		10	・各自・ピアノ・ギター・キーボードに分かれ、得意とする曲を学びます ・10月と同じ	・自主的に演奏する喜びを味わいます。 ・音・リズムの確認を徹底して指導します。 ・音楽に自分なりの変化を持たせているか・リズムは間違いがないかに注意させます。
	期末	10	・音楽史 (古典派) 2人の演奏家	
		11	・器楽音楽発表会 (テスト)	・自分の能力を十分発揮出来たか・個性溢れる演奏が出来たか、選択者全員で聞き会います
		12	・＜アンサンブルを楽しむ。＞ ・G線上のアリア ・宇宙戦艦ヤマト ・音楽史 (ロマン派ピアノ曲)	・アンサンブルを通して自分と他人の音・リズムを確実に聞き分け、音の融合感を味わいます ・ピアノの持つ華麗なる技法の追求をします。
3 学期	学 年 末	1	・卒業テスト ・鑑賞テスト・音楽史テスト	・音楽1 音楽2 をとおして自分なりに表現する力がついたかどうか評価します
		2		
		3		
課題提出物等			・毎回いろいろなCDやDVDを聞かせたり、見せたりします。その感想は毎回提出し、プリントと共に平常点で評価します。	

教 科	芸術	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	3	全 ／ 選	選
科 目	美術								
使用教科書		美術 3（光村図書出版）							
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	美術の創造活動を通して、美的感覚を洗練し、表現と鑑賞の能力を高めるとともに、美術文化について、その歴史的、文化的な意味と価値を理解し、生涯美術を愛好する心情を育てます。
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を 70％，学習活動への参加の仕方や態度を 30％として行います。
生徒へのアドバイス	あくまでも生徒が主体です。全員が一同に意欲的に創作活動ができるように、常に実技試験のつもりで授業を進めていきます。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	美術に関心を寄せ、意欲的に学習活動に取り組み行動ができる。	学習活動への参加の仕方や態度。
芸術的な感受や表現の工夫	題材のテーマをよく理解している。テーマに合った形、色などをよく考えて独自の工夫をして表現している。	提出作品
創造的な表現の技能	課題に対して感性や想像力を働かせて効果的な表現ができる	授業への取り組み。
鑑賞の能力	一人一人が自己の作品のみならず、他人の作品に対しても良さや美しさを味わい、自己の考えを率直に述べることができる。	鑑賞の態度および発表。

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	(1) T シャツプリント ・ 下絵制作 ・ 原紙切削 ・ スクリーン接着 ・ プリント	・ シャツをプリントすることによってシルクスクリーンの技法を学習します。 ・ 切削による型紙の絵の美しさを学習します。 ・ 配色の美しさを理解します。
		5		
	期 末	5		
		6		
		7	(2) 鑑賞	・ 仕上がった作品を観ながら、お互いのよいところなどを鑑賞します。
2 学期	中 間	9	(3) 染色 (藍染め) ・ 下絵制作 ・ 型紙に転写 ・ 型紙切削 ・ 防染糊プリント ・ 染色 ・ 防染糊落とし	・ 日本古来の染色方法である藍染めを学習し、型紙や防染糊について理解します。 ・ 染色や防染糊落としの楽しさを味わい、古来の染め物に思いをはせます。
		10		
	期 末	10		
		11		
		12	(4) 鑑賞	・ 仕上がった作品を観賞し、お互いのよいところなどの感想を述べ合い鑑賞します。
3 学期	学 年 末	1	(5) デッサン ・ 静物又は石膏像のデッサン	・ デッサンすることによって形の成り立ちや陰影について理解します。
		2		
		3		
課題提出物等		・ 教材を用意。 ・ 決められた期日までに作品提出。		

教 科	芸術	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	3	全 選	選
科 目	書道								
使用教科書	書道 （教育出版）								
副 教 材 等	基本ペン習字（教育図書）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<p>1 書道における表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てます。</p> <p>2 書を楽しむ態度を通して、感性を豊かにし、さまざまな場面に対応する書写能力を高めます。</p> <p>3 1と2の学習を通して、自己を主体的に表現する能力と書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばしていきます。</p>
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を70％、学習活動への参加の仕方や態度を30％として行います。
生徒へのアドバイス	<p>1 書道の学習においては、まずよく見るのが大切です。自らの感性に基づき対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。</p> <p>2 技法の習得は主として古典の臨書によりますが、ただ枚数を重ねるのではなく1枚1枚、1字1字について「何が出来るようになったか」を大切にします。1時間の中での進歩、単元を通しての進歩、そして、1年間の学習を通しての進歩が感じとれるような学習への取組を期待します。</p>

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・書を愛好し、書の美しさに関心を持ち、意欲的、主体的に活動を行い、その喜びを味わおうとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・作品ファイルの整理状況 ・小テスト ・創作カード
芸術的な感受や表現の工夫	・感性を豊かにし、古典のよさや美しさを感じ取り、創造的な表現を工夫しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・作品ファイルの整理状況 ・創作カード
創造的な表現の技能	・漢字仮名交じりの書・漢字の書・仮名の書を通して、自己を主体的に表現する能力を伸ばし、実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を身に付けているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・作品ファイルの整理状況
鑑賞の能力	・書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を幅広く理解し、そのよさや美しさを深く味わっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・発表 ・作品ファイルの整理状況 ・創作カード

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	1 書の美を求めて	・書と文化の関係について考え、書の理解をより深めます。
		5	2 漢字の書 ・篆書 ・隸書 ・楷書 ・行書 ・草書	・漢字の五書体の中から自分の好きな古典を選択して、筆遣いや文字の形の取り方などを半紙に臨書します。
		6	・創作（扇面）	・半紙での臨書学習の成果を創作にまとめます。 ・用紙は、扇面を使用します。
		7		・同上
2 学期	中間	9	5 刻字の学習 ・創作（表札）	・表札作りに挑戦します。 ・楷書、行書、隸書の中から書体を選択します。 ・字書から選択した書体を抜き出して、原稿を作ります。 ・半紙練習の後、清書します。 ・表札用の板に清書を貼り、文字を彫ります。 ・着色して、完成させます。
		10		・作品の批評会、様々な作品の表現法や味わいを感じ、書についての鑑賞力を高めます。
	期末	11	4 漢字仮名交じりの書 ・創作（カレンダー）	・来年のカレンダーに、漢字仮名交じりの書で創作します。 ・文字群、墨継ぎ、章法、全体構成等総合的に捉えて作品作りを行います。 ・お互いに作品を鑑賞して、書に対する理解や書の鑑賞力を高めます。
		12	生活の中の書	生活の中で使用されている細字を学習します。 （古典による楷書細字）
3 学期	学 年 末	1	生活の中の書	・生活の中で使用されている細字を学習します。 ・祝儀袋等の冠婚葬祭における伝統的な取り扱い方を理解し、書き方を体験します。
課題提出物等	1 原則として、毎時間作品を完成させます。 2 授業中に完成させた作品をファイルします。 3 学期に2回程度、実技試験（清書）を行います。 4 創作は、創作カードに基づいて行います。			

教 科	外国語	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	3	全 ／ 選	選
科 目	英語総合								
使用教科書		Hana's Suitcase （三友社）							
副 教 材 等		読解力やコミュニケーション力養成のための補助教材							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	読む、書く、聞く、話す、の各領域の能力を高めながら、場面や目的に応じて適切な英語を使える能力と、英語学習を継続して行おうとする意欲を育てる。
評 価 方 法	原則として各学期の定期考查の得点で7割、課題提出や小テスト等の平常点で3割の総合評価とする。
生徒へのアドバイス	年間を通して一冊の物語を読み続けるので、予習復習を必ず行って欲しい。特に、予習をしてから授業に臨むと効果的。音読やQ & Aの活動に積極的に参加し、恥ずかしがらずに声を出すこと。語学は語彙力が鍵なので、常に向上に努めること。提出課題は期限内に必ず提出すること。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	授業に真面目に取り組んでいるか。 ノートをしっかりとしているか。 課題をきちんと提出しているか。 発問に対して答えようと努めるか。 音読をしっかりやっているか。	出席状況の確認 授業中の態度の観察 ノート・課題の提出
読 む 能 力	教科書の英文内容を理解し、適切な日本語にまとめられるか。 内容についての質問に答えられるか。 学習した英文を音読できるか。	授業中の質疑応答 授業中の音読 内容確認の小テスト 定期考查の読解問題
書 く 能 力	学習した基本表現を自分で書けるか。 学習した基本表現を使って英文を書けるか。	小テスト 定期考查の文法・並べ替え等の問題
聞 く ・ 話 す 力	英語を聞いて意味がつかめるか。 英語を正しく発音できるか。 英語での質問に答えられるか。 学習した基本表現を使って英文を言えるか。	リスニングテスト 授業中の英問英答 定期考查の発音問題
語 彙 能 力	学習した語句を覚えたか。 学習した語句を使いこなせるか。	単語の小テスト 定期考查の語彙問題

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	A Suitcase Arrived in Tokyo The Holocaust Center	英文の内容を理解させ、正しく音読させる。 既習の文法事項を復習し定着を図る。
		5	The Auschwitz Death Camp Hana's Drawings	英文の内容を理解させ、正しく音読させる。 既習の文法事項を復習し定着を図る。
	期 末	5	Hana's Drawings	英文の内容を理解させ、正しく音読させる。 既習の文法事項を復習し定着を図る。
		6	A Visit to Terezin Hana Had a Brother!	登場人物の心理等、英文の意味のさらに奥にある ものを考えさせる。 既習の文法事項を復習し定着を図る。
		7	Hana Had a Brother!	登場人物の心理等、英文の意味のさらに奥にある ものを考えさせる。 既習の文法事項を復習し定着を図る。
2 学期	中 間	9	George in Canada Happy Days in Their Hometown	自分の力で読み進む意欲を引き出す。 習った語句や文法を使って自己表現をする。
		10	Beginning of the Holocaust Hana and George in Terezin	自分の力で読み進む意欲を引き出す。 習った語句や文法を使って自己表現をする。
	期 末	10	Hana and George in Terezin	人間の尊厳と生命の尊さについて考える。 習った語句や文法を使って自己表現をする。
		11	Parting from His Little Sister Reunion with 'Hana'	人間の尊厳と生命の尊さについて考える。 習った語句や文法を使って自己表現をする。
		12	Reunion with 'Hana'	人間の尊厳と生命の尊さについて考える。 習った語句や文法を使って自己表現をする。
3 学 年 期 末	学 年 末	1	プリント等を使った実践問題	実践問題をこなし、既習事項のさらなる定着を図 る。
		2		
		3		
課題提出物等		・学習進度に応じてノートを提出してもらいます。 ・プリントや課題の提出も指示します。		

教 科	情報	単位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	3	全 ／ 選	選
科 目	情報技術								
使用教科書		高等学校 三訂版 情報 A（第一学習社）							
副 教 材 等		ワープロ実務検定模擬試験問題集（実教出版）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	ワードプロセッサ使用の基礎的・基本的な知識と技術を身につけます。 各自の目標に応じた検定試験に合格します。
評 価 方 法	各学期とも ・定期考査 50 %、 ・課題および発表 40 %、 ・授業への参加態度 10 % でおこないます。
生徒へのアドバイス	資格試験合格を目指す人のための授業なので繰り返し文書を書く練習を行います。 一二期はほぼ毎時間ワープロの文書を提出してもらいますので怠けていると大変です。 漢字の読み書きが重要になりますので、漢字テストに意欲的に取り組みましょ う。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を真剣に受けているか。 ・ 教材をきちんと用意しているか。 	毎回の授業で確認する。
読み書きの能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字が正しく読めるか ・ 同音異義語が正しく使えるか ・ おくりがなが正しく使えるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査で評価する。 ・ 検定試験模擬問題で評価する。 ・ 提出された作品で評価する。
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 速く、正確に作品は作成できるか ・ 意図を十分に伝えられたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出された作品で評価する。 ・ タイピング練習ソフトで評価する。
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワードプロセッサ使用のための基礎的な知識を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査で評価する ・ 提出された作品で評価する。 ・ 授業中に行う検定試験模擬問題で評価する。

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	オリエンテーション コミュニケーションの基礎	これから行われる授業について理解します。
		5	ワープロの利用 わかりやすい文書 定型文書	ワードプロセッサの基本的な使用ができるようにします。
	期末	5		ビジネス文書の基本的な構造がわかるようにします。
		6	ワープロ実務検定受検	ワープロ実務検定4級または3級程度の技能が身につくようにします。
		7		
2 学期	中間	9	より効率的なワープロの利用 定型文書	ワードプロセッサをより効率的に使えるようにします。
		10		
	期末	10	ワープロ実務検定受検	
		11	Wikiを使用した辞典作り	ワープロ実務検定3級または2級程度の技能が身につくようにします。 ウェブでの表現方法を身につけます。 ワープロ技能を応用した、wikiによるウェブページを作成します。
		12		
3 学期	学 年 末	1	ブログの作成	ブログによるウェブページの作成を通してウェブ上の表現と問題点を学びます。
		2		
		3		
課題提出物等		・一二期はほぼ毎時間ワープロによる文書、数時間おきに行う筆記試験問題。 ・二三学期は時間毎に作成した画像やウェブページ		

教 科	体育	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	生涯スポーツ								
使用教科書		現代保健体育（大修館）							
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	生涯を通じて仲間と楽しくスポーツができたり、健康の保持増進を目指した運動方法を実践したりすることができる能力を養う。
評 価 方 法	授業への取り組み、および実技試験、レポート等を考慮して成績を出します。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりとした服装で、積極的に授業に参加してください。 ・行動を機敏にし、安全に配慮してください。 ・仲間との交流を深め自己表現能力を高めてください。 ・遅刻・欠席・見学はできるだけ避けてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業への参加・意欲の観察 個人・グループカードの読み取り
思考・判断	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、工夫している	授業への参加意欲の観察 個人・グループカードの読み取り 口頭による諮問
技能	運動方法を身につけ、理解している。	授業中の観察
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方。 生涯スポーツの意義等の基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける。	授業中の観察 口頭による諮問 レポート

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション 生涯スポーツの意義 バレーボール	年間計画を理解します。 生涯スポーツの意義を理解します。 ソフトバレーボールの競技方法を理解します。
		5	バレーボール	ソフトバレーボールのゲームをセルフジャッジで行うことができるようになります。
	期 末	5	バレーボール	ソフトバレーボールを通して、仲間と楽しく運動することができるようになります。
		6	水泳	健康増進における水泳の効果について理解します。 各泳法について、個人の能力を把握します。
		7	水泳	自分にあった泳法の技能を向上させます。
2 学期	中 間	9	水泳 ソフトボール	自分のペースでゆっくりと長い時間泳ぐための技能を向上させます。 ソフトボールの競技方法を理解します。
		10	ソフトボール	基本技能を向上させます。
	期 末	10	ソフトボール	ソフトバレーボールを通して、仲間と楽しく運動することができるようになります。
		11	バドミントン	バドミンントンの競技方法を理解します。 バドミンントンの基本技能を向上させます。
		12	バドミントン	バドミントンを通して、仲間と楽しく運動することができるようになります。
3 学期	学 年 末	1	バドミントン	バドミントンを通して、仲間と楽しく運動することができるようになります。
		2		
		3		
課題提出物等	各種レポート等 (体調不良等の理由で授業に参加できない者については、別にレポートを課す場合があります。)			